

福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和7年第51週（令和7年12月15日～令和7年12月21日）

福岡県感染症情報センター

■コメント

- ・インフルエンザの定点当たり報告数が63.69となり、警報レベルが続いている。本疾患は、患者の咳やくしゃみ等のしぶきに含まれる飛沫を吸い込んだり、ウイルスが付着した手で口や鼻に触れたりすることで感染し、38°C以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、全身倦怠感等の症状が現れます。本疾患を疑う症状がある場合は、早めにかかりつけ医等の医療機関に電話で相談しましょう。年末年始を控え、人の移動や人と人が接触する機会が増えることから、手洗い、咳エチケットを含む適切なマスクの着用、こまめな換気等で感染拡大防止に努めましょう。
- ・年末年始に海外旅行に行く際は、事前に、渡航先で発生している感染症を知り、その感染症に対する正しい知識と予防法を身に付けることが大切です。また、帰国後に体調に異状がみられる場合は、早めに医療機関を受診し、海外渡航歴があることを伝えましょう。詳細は、福岡県ホームページ「海外旅行に行くときは感染症にご注意ください」をご覧ください。 ➤>



■全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国(前週)	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	13	754	214	13,696
腸管出血性大腸菌感染症	1	280	49	4,225
E型肝炎	1	6	9	558
つつが虫病	2	5	31	225
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	75	12	1,155
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	3	66	21	1,319
侵襲性肺炎球菌感染症	3	128	48	3,264
梅毒	11	753	185	13,085
百日咳	14	3,224	431	88,475

■定点把握疾患報告数

病名	福岡県			全国(前週)	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	27	0.22	0.60	4,653	1.21
インフルエンザ（警報レベル）	7,770	63.69	0.84	142,434	36.96
急性呼吸器感染症	11,159	91.47	0.94	310,970	80.96
R Sウイルス感染症	30	0.43	0.97	1,366	0.58
咽頭結膜熱	40	0.57	1.18	706	0.30
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	363	5.19	0.92	6,446	2.75
感染性胃腸炎	449	6.41	1.22	11,091	4.73
水痘	27	0.39	0.90	886	0.38
手足口病	14	0.20	0.58	157	0.07
伝染性紅斑	45	0.64	0.67	1,365	0.58
突発性発しん	18	0.26	0.75	488	0.21
ヘルパンギーナ	3	0.04	1.00	53	0.02
流行性耳下腺炎	3	0.04	1.50	76	0.03
急性出血性結膜炎	0	0.00	-	7	0.01
流行性角結膜炎	43	1.65	0.93	452	0.65
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	4	0.01
無菌性髄膜炎	1	0.07	0.50	13	0.03
マイコプラズマ肺炎	7	0.47	1.17	410	0.85
クラミジア肺炎	0	0.00	-	5	0.01
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0.00	-	5	0.01